



令和元(2019)年度

災害時における 外国人への支援セミナー

地震や台風などの災害により、日本人だけではなく外国人住民や訪日観光客も被災者となる場面が増えています。そこでこの研修では、災害時、外国人住民を取り巻く状況を踏まえ、支援のための仕組みづくりについて理解を深めます。また、災害時において、外国人住民を含めた多様な主体との連携による地域防災のあり方についても考えます。

研修の ポイント

- 日本で暮らす外国人住民の増加と多国籍化、さらには訪日観光客数の増加に伴い、災害時に外国人から求められる対応は多様化しています。防災に関する国や自治体の最近の動向と対応事例について学びます。
- 外国人住民も参加する様々な団体やボランティアとの連携による地域防災について、演習を通して議論し、理解を深めます。
- 災害時、外国人がスムーズに避難したり支援を受けるためには、日頃から地域住民との共生の取り組みを進めることが重要です。外国人の避難行動や避難生活で求められる配慮等について、地域で話し合い、災害への備えを進めておく必要性について、先進事例から学びます。

(一財)自治体国際化協会(CLAIR) 全国市町村国際文化研修所(JIAM)

※「災害時における外国人への支援セミナー」修了者は、別途総務省が実施する「災害時外国人支援情報コーディネーターを養成するための研修」の受講が可能となります。詳細については、総務省国際室(TEL:03-5253-5527)までお問い合わせ下さい。

開催要領

日程 令和元(2019)年10月23日(水)～10月25日(金) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 ・市区町村・都道府県職員、地域国際化協会・市区町村国際交流協会職員
・地方公共団体や地域国際化協会と協働して地域の国際化(多文化共生)に取り組むNPOまたはNGOで地方公共団体または地域国際化協会から推薦を受けた団体の職員
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数 70人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 6,900円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。(一財)自治体国際化協会(CLAIR)からの助成(研修費3,600円)後の額です。CLAIRの助成対象外の方は、10,500円です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 令和元年9月6日(金)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和元年

10月
23日(水)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
- 12:30～ 開講・オリエンテーション
- 13:00～ 14:10 **講義** **これからの外国人住民との協働による地域防災を考える**
(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
様々な災害現場で外国人への支援をされてきた田村氏から災害時の外国人の状況や支援の必要性についてお話しいただきます。また、支援の対象だけでなく、担い手としての外国人への視点から、協働による地域防災のあり方についてお話しいただきます。
- 14:25～ 15:35 **演習** **自己紹介・情報交換(事前課題共有)**
(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
グループ討議を行うにあたり、グループのメンバー同士の自己紹介を行うとともに、事前課題をもとにメンバーそれぞれの自治体や所属する団体における取り組み状況を全体で共有します。
- 15:50～ 17:00 **演習** **グループ討議**
(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
外国人住民も参加しながら、様々な団体との連携で実施する地域防災事業について、グループで議論するテーマを話し合います。
- 17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和元年

10月
24日(木)

- 9:25～ 12:00 **事例紹介**
災害時多言語サポーター養成事業について
三重県国際交流財団 専門員 上原 ジャンカルロ 氏
西尾市役所等との協働での地域での取り組みについて
多文化共生サポートAdagio 代表 高木 祐子 氏
大阪北部地震での外国人避難者の事例について
箕面市多文化交流センター 館長 岩城 あすか 氏
(コーディネーター:田村 太郎 氏)
災害発生当時の経験や、外国人住民が主体となって参画する地域防災の取り組みについてお話しいただきます。
- 13:00～ 14:30 **講師との直接対話**
三重県国際交流財団 専門員 上原 ジャンカルロ 氏
多文化共生サポートAdagio 代表 高木 祐子 氏
箕面市多文化交流センター 館長 岩城 あすか 氏
(コーディネーター:田村 太郎 氏)
3つのグループに分かれ、事例紹介を行っていただいた3人の講師の方に直接質問を行ったり、意見交換を行います。
- 14:45～ 17:00 **演習** **グループ討議**
(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 主任研究員 楊 梓 氏
講義や事例紹介、前日の情報交換の内容を踏まえ、災害時における外国人支援に関する課題を抽出し、その対応策についてグループで議論します。
- 17:00～ **課外学習**

令和元年

10月
25日(金)

- 9:25～ 12:00 **演習** **グループ討議報告会**
(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 主任研究員 楊 梓 氏
グループ討議で議論した内容を発表し、講師からアドバイスをいただきます。
- 13:00～ 14:10 **演習** **ふりかえり**
(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 田村 太郎 氏
研修で学んだことを地域での取り組みへの足掛かりとするために、研修全体のふりかえりを行います。
- 14:10～ 14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

■(一財)自治体国際化協会が下記のとおり助成します。

- ①地方公共団体に属する職員 研修費(3,600円)を助成
- ②・地域国際化協会、市町村(特別区を含む)の国際交流協会の職員
・地方公共団体や地域国際化協会と協働して多文化共生等の事業展開に取り組むNPOまたはNGOで、地方公共団体または、地域国際化協会から推薦を受けた団体に属する職員
研修費(3,600円)及び往復交通費の全額を助成
- ※詳しくは、(一財)自治体国際化協会(CLAIR)多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください。
TEL:03-5213-1725 FAX:03-5213-1742 ホームページ:<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html> E-mail:tabunka@clair.or.jp

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。